

平成28年度

あ ゆ み

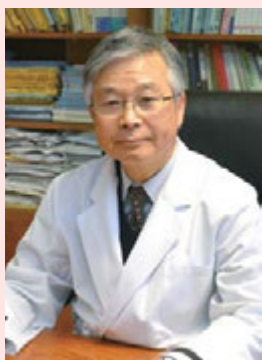
～ 献血から輸血まで ～



(献血ポスターコンクール最優秀作品)
白山市立笠間中学校3年 関沢 柚希



石川県赤十字血液センター



ありがとう “いのちの献血”

平成28年度は石川県民約4万3千人の皆様方の心温かい献血に支えられ、より安全で高品質の輸血用血液を患者さんのもとへ不足なくお届け出来ました。輸血を受けられ元気を取り戻した沢山の患者様から感謝の手紙が届いています。本誌にも掲載してありますが、皆様方のご支援の賜物と心よりお礼申し上げます。

平成28年度は血液事業の広域化後6年目となり9月には新たに“洗浄血小板”の供給を始めました。輸血でアレルギー反応を起こす患者様に対し非常に有効です。又ABO血液型やRh血液型に加え11種類の血液型を一致させた赤血球、O型赤血球とAB型血漿を混ぜた合成血、HLA適合血小板など病院からの特別な注文に対しては、血液製造工場の石川製造所と連携し、加工した製剤を素早く病院へお届け出来ています。

10月には血液センターの新築移転が35年振りに実現し、新センター（母体）と2か所の献血ルーム体制に大きく進化しました。新センターは今後約40年間にわたり石川県の血液事業の基盤となる施設です。“安全で高品質の血液製剤を安定的に供給できかつ輸血医療支援機能を有する施設”を基本理念とし、将来の血液事業の多角化や南海トラフ等の大震災時の対策、造血細胞移植の支援機能、大学生の献血ボランティア活動の支援ができるようになっています。

現在最大の課題は献血者集団のやせ細りです。超少子高齢社会を迎え10年後は85万人の献血者不足が推定されていますので、国や県と連携して若年者の献血参加による長期に安定した献血集団確保が急務です。血液センターは高校生や大学生が中心の献血推進ボランティア組織を支援し、献血セミナーなどで広報を行い、国や県、市町、ライオンズクラブ、大学や高校、企業献血団体等のご支援を受けながら、若年層の献血率向上と効率の良い献血推進活動を一層強化していく所存です。

献血はこれからも皆様方の“人のためを思う気持ち”に支えて頂くしかありません。献血者が安心して健康で献血して頂けますよう、献血環境の改善、健康管理の支援、採血技術の向上など職員一同一層力を注いでいく所存です。

県民の皆様方には末永く健康を維持して頂き、健康で献血をして頂けますよう、また周囲の若者には“愛の献血”として背中をそっと押して頂けますようお願い申し上げます。

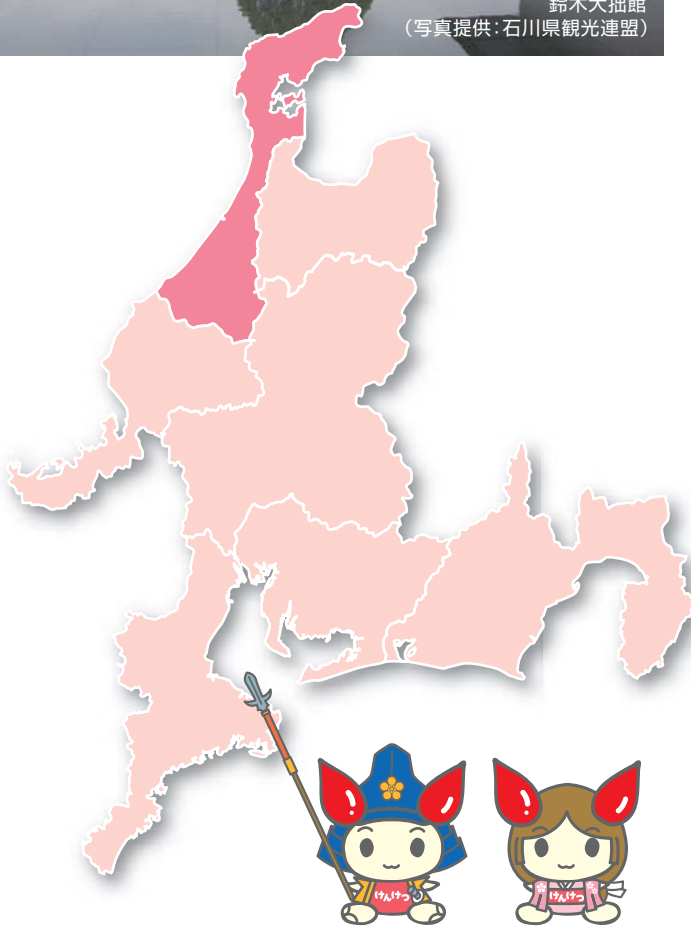
平成29年3月

石川県赤十字血液センター

所長 塩原 信太郎



鈴木大拙館
(写真提供: 石川県観光連盟)



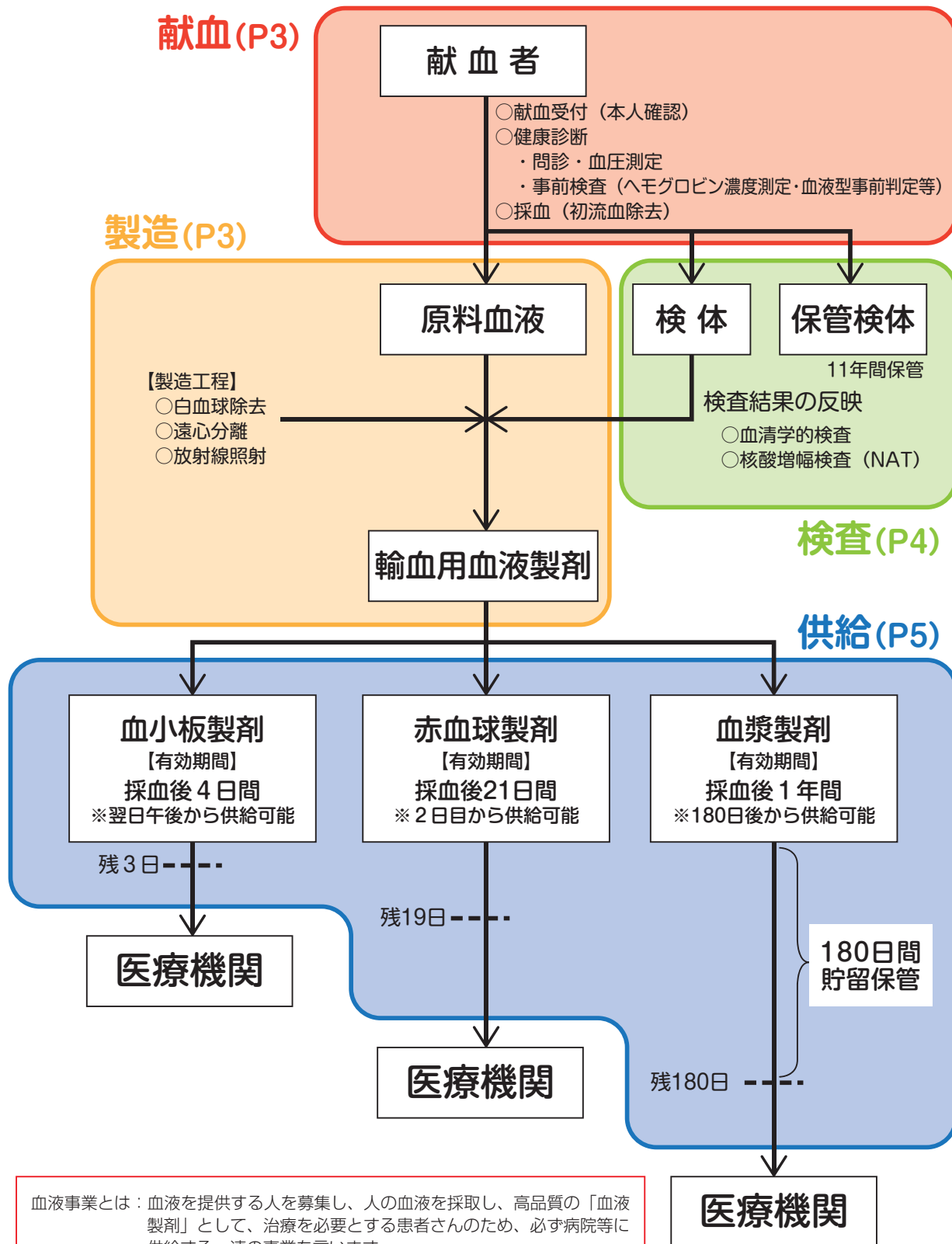
CONTENTS

献血受入れから供給まで	2
・献血、製造	3
・検査	4
・供給	5
献血を支える活動	6
石川県赤十字血液センターの主な取り組み	
・400mL 献血及び血小板成分献血の推進	8
・献血サポーター制度	8
・献血者登録制度	8
・緊急時の血小板成分献血への協力依頼	8
・若年層への献血推進活動	9
・複数回献血クラブ制度	9
・栄養相談・骨髄バンクドナー	9
献血場所の紹介	
・献血バス	10
・献血ルーム ル・キューブ	10
・献血ルーム くらつき	10
献血推進に係る新たな中期目標～献血推進 2020～	
・背景及び目的	11
・平成 32 (2020) 年度までの達成目標	11
・重点的な取り組みについて	11
献血功労者・功労団体の表彰	12
献血推進団体	12
平成 28 年度献血ポスターコンクール優秀作品	13
採血基準	
・献血種類別の献血基準	14
・献血の間隔	14
血液と血液製剤について	
・献血の種類と血液製剤の種類	15
・血液の役割	16
・血液型 (A B O・R h・まれな血液・H L A)	17
・H L A 適合血小板について	17
・医薬情報活動	18
・血液事業における医薬品品質システムについて	18
平成 28 年度献血者数・血液製剤の供給状況	19
・血液製剤の供給状況	20
・地域別供給状況	21
石川県赤十字血液センターの組織	22
石川県赤十字血液センターの沿革	23
石川県赤十字血液センター 新築移転!	26
患者さんからのメッセージ・わたしたちの誓い	

献血受入れから供給まで



献血いただいた血液は、安全性確保の検査が行われた後、輸血医療のために様々な血液製剤に形を変えて、患者さんの待つ医療機関へ供給されます。



献血

安全で責任のある献血をお願いするために、献血受け付け時に身分証明書などの提示をお願いし、本人確認を実施しています。

また、献血者と患者さん双方の安全を守るため、献血の基準を満たしているかどうかを医師の問診と事前採血による血液検査を実施して確認します。

① 献血受付（本人確認）



② 問診・血圧測定



③ 事前調査



④ 採血



★アフェレーシスナースが在籍！より安全・快適な環境を提供!!

日本輸血・細胞治療学会が認定する「アフェレーシスナース」とは、アフェレーシスへの正しい知識を有しており、血小板成分献血など献血いただくドナー様への的確な看護を実践し、献血の安全性向上に寄与できる看護師のことをいいます。

当センターでは平成29年3月末で3名在籍しておりますが、より安全かつ快適な献血環境を目指し、看護師の認定取得を積極的に進めております。

製造



フィルタ処理をして白血球を取り除く。
「白血球」による副作用を防止するためです。



遠心分離機にかける。



製剤別のラベルを貼る。



赤血球製剤は、副作用防止のため放射線を照射する。



コンピュータで
検査結果等と照合する。



血液製剤

検査

献血いただいた血液は、血液型検査や感染症予防のための抗原・抗体検査、献血後にお知らせする生化学検査、血球計数検査などを行います。

各種検査項目

血液型検査	ABO血液型検査、Rh血液型検査、不規則抗体検査、HLA検査(一部)
感染症関連	梅毒血清学的検査、B型肝炎ウイルス検査(HBs抗原、HBs抗体、HBc抗体)
	C型肝炎ウイルス検査(HCV抗体)、エイズウイルス検査(HIV-1、2抗体)
	HTLV-I 抗体検査、ヒトパルボウイルスB19抗原検査
生化学検査	ALT(GPT)、 γ -GTP、総蛋白、アルブミン、アルブミン対グロブリン比
	コレステロール、グリコアルブミン
血球計数検査	赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値、平均赤血球容積
	平均赤血球ヘモグロビン量、平均赤血球ヘモグロビン濃度
	白血球数、血小板数
核酸増幅検査	B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査、エイズウイルス検査
その他の検査	まれな血液型、サイトメガロウイルス検査

NAT 検査



抗原・抗体検査は、ウイルスなどに感染した後、血液中に産生される抗原や抗体を検出する方法であるため、感染後しばらくは、感染していることを検査で検出できない期間(ウィンドウ・ピリオド)があります。

核酸増幅検査(NAT)は、抗原や抗体ではなくウイルスを構成する核酸(DNAまたはRNA)の一部を約1億倍に増幅しウイルスの有無を検出するため、非常に感度と特異性が高く、ウィンドウ・ピリオドの短縮を可能にします。日本赤十字社では、1999年(平成11年)より血液の安全性向上を図るうえでB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、エイズウイルス(HIV)について特に有効なNATを世界に先駆けて導入しています。

検査成績のお知らせ

献血にご協力いただいた方の中で通知を希望される方を対象に、7項目の生化学検査成績及び8項目の血球計数検査成績をお知らせしています。これらの結果は、親展にておよそ2週間で献血者に届くように郵送されています。また献血受付時にB型肝炎検査、C型肝炎検査、梅毒検査、HTLV-I 検査の結果通知を希望された方には、異常を認めた場合、献血後1ヶ月以内に上記の通知とは別に親展にてご通知します。



供給

血液センターでは、医療機関の要請にいつでも応えられるように1年間365日休みなく24時間体制で輸血用血液の供給を行っています。

また、地域的な血液製剤の過不足や血液型の偏り、まれな血液に対応するために全国規模での需給調整を行い、供給に支障をきたさないように努めています。

●主たる供給業務は次の5段階からなっています。

保 管

受 注

出庫・梱包

輸 送

引 渡

保 管

検査に合格した輸血用血液製剤は、必要な時に必要な分だけ患者さんのもとに届けられるよう、一定量が血液センターに保管されています。これらの輸血用血液製剤は、品質を維持するために最も適した温度の冷蔵庫・冷凍庫で保管されています。

(赤血球2～6℃ 血小板20～24℃ 血漿-20℃以下)

冷蔵庫・冷凍庫には温度記録計や警報装置が付いていて常に適正な条件で温度管理が行われています。



受 注

医療機関からの要請に基づき、コンピュータに要請内容を入力します。

確認しながら
受注します。



出庫・梱包

複数の職員で受注した血液製剤の内容(血液製剤名、血液型、数量、有効期限等)を確認し、冷蔵庫・冷蔵室から出庫します。その後、輸送バックに厳重に梱包し血液製剤の種類に応じて氷、ドライアイス、保温剤等で品質管理に最適な温度を保ちます。

厳重に梱包
しています。



輸 送



血液製剤の輸送は職員が配送する他にトラック便、航空便などの方法があります。輸送前の梱包時には慎重に確認作業を行います。

引 渡 (医療機関)



医療機関へ引渡す時も血液製剤の内容を双方で確認します。



献血を支える活動



世界献血者デー

毎年6月14日は、広く一般の方々に献血の重要性などを知って頂くことを目的として、「世界献血者デー (World Blood Donor Day)」が定められています。世界で増える無償献血や成分献血のニーズに応えて、これまでに献血にご参加いただいたことのある方々を称える機会です。



<http://www.wbdd.org/>
<http://www.who.int/worldblooddonorday/en/>

愛の血液助け合い運動 (7月)

平成28年7月1日(金)～7月31日(日)

平成28年7月3日(日) 七夕献血キャンペーン
 会場：アルプラザ金沢、献血ルーム ル・キューブ



4月↑

3月

献血ルーム ル・キューブ 開設3周年キャンペーン

平成29年3月20日(月)
～3月26日(日)

「かなざわはこまち」(金沢市袋町)に移転して3周年を迎え、日頃から献血にご協力くださる皆様へ感謝を込めて「ネイルケア・アート」サービスを実施しました。



献血ルーム 独自のキャンペーン

●「お誕生日おめでとう」キャンペーン

献血ルームで献血いただいた方のお誕生月に「バースデーカード」をお送りし、さらに献血いただいた方に記念品をお渡しします。



●「10代・20代限定複数回献血」キャンペーン

献血離れが深刻な10代、20代の複数回献血を促すため、ポイントカードをお渡しし、献血3回の達成時に記念品をお渡しします。



石川センターの

「はたちの献血」キャンペーン

平成29年1月1日(日)～2月28日(火)

献血者が減少しがちな冬期において安全な血液製剤を安定的に確保するため、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く国民の皆様へ献血に関する理解と協力を求めています。



なぜ？なに？おしえてけん血！ (青少年等献血ふれあい事業)

平成28年7月23日(土)・7月30日(土)・8月6日(土)

小学生とご家族を対象に、献血の大切さを感じていただこうと、夏休みに開催しています。職員による講義と血液センターの施設見学によって、献血でいただいた血液が病院に送り届けられるまでの流れを知っていただきました。



高校生向け献血セミナー事業

将来の輸血医療を支える若年層に向け、献血の動機付けやきっかけを与えるとともに継続的に協力していただくため、高校においてスライドによる講義、啓発ビデオ上映などのセミナーを行っています。平成28年度は計16校に対し、17回実施しました。対象生徒数は1,329名でした。



東海北陸ブロック統一サマー献血キャンペーン

平成28年8月14日(日)

会場：アピタ松任店、献血ルーム ル・キューブ
東海、北陸地方の大学生等が、学生献血推進ボランティアとして、統一した目標を掲げ、献血会場周辺で買い物客らに献血を呼びかけるキャンペーンを行い、多くの方に献血をご協力いただきました。



献血広報活動



年末年始愛の血液助け合い運動

平成28年12月20日(火)～平成29年1月19日(木)

献血者の確保と年末年始の献血受け入れ体制の強化を目指すとともに、広く県民各層の間に献血思想の普及徹底を図るために実施しました。

平成28年12月4日(日)、11日(日)

全国学生クリスマス献血キャンペーン

会場：アピタ松任店、献血ルーム ル・キューブ



複数回献血協力者確保事業

平成28年12月9日(金)

血液センターでは「年間に複数回の献血協力の依頼に応じていただける方」を対象として「複数回献血クラブ」を設立し、会員の皆さまに喜んでいただけるイベントを開催しています。今年度は、映画「海賊とよばれた男」の試写会を実施し、300名の方にご参加いただきました。そして、上映前のエフエムいしかわアナウンサーによるトークショーで、石川県学生献血推進委員会のメンバーが日頃の活動を報告し、さらにお楽しみ抽選会も行い、ご来場くださった方にプレゼントをお渡ししました。



石川県赤十字献血センターの主な取り組み



400mL 献血及び血小板成分献血の推進

平成28年度において、医療機関の要望に応えるために400mL献血を推進した結果、93.2%となりました。全国における400mL献血率は、95.4%で、今後更に400mL献血者を増加させるよう推進し、医療機関のニーズに応えていかなければいけません。

血小板製剤の供給量については、平成28年度は約7.5万単位の供給となりました。前年度から多少の増減はありましたが、時期的に急な増加傾向を示すため、複数回献血クラブ会員や血小板献血登録者の募集に努め、血液の安定確保と安定供給に努めています。

献血サポーター制度

日本赤十字社では、献血にご協力いただける企業・団体の皆様、献血会場の提供にご協力いただける企業・団体の皆様に広く募集しています。

●献血サポーターとは…

医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血に積極的に協力していただける企業・団体のことを「献血サポーター」と言います。

●ロゴマークの配布

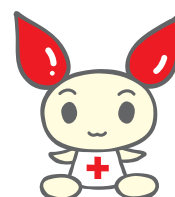
「献血サポーター」となった企業・団体には、「献血サポーター」ロゴマークを日常の企業活動等において活用していただくことができます。

●献血サポーターへの参加

国民の医療を支える献血のさらなる推進を図っていただき、また、社会貢献活動である献血活動を国民に広くPRする機会として「献血サポーター」にご参加ください。

お問い合わせ 石川県赤十字血液センター ☎076-254-6300
献血サポーター ホームページ <https://www.ken-sapo.jp>

私たちは献血をサポートしています。



献血者登録制度

「患者さんが必要とされている血液」を安定的にお届けするため、血液センターの要請にお応えいただける方に登録していただく制度です。

特に血液疾患などで、HLA（白血球型）が適合した血小板が必要になる場合があるため、一人でも多くの方に成分献血の登録をお願いしています。

また、Rh（-）の血液、まれな血液型においても同様に登録をお願いしています。

●献血者登録状況（平成29年3月末現在）

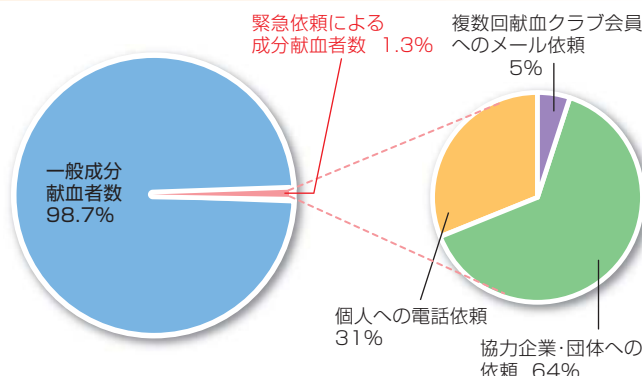
	計	内 訳	(人)
全 血	1,345	Rh(+)型	683
		Rh(-)型	662
成 分	8,340	Rh(+)型	8,302
		Rh(-)型	38
合 計	9,685		9,685

緊急時の血小板成分献血への協力依頼

医療機関からの日々変動する要望に対し、不足が生じる恐れがある場合等、緊急時には様々な方法で献血協力を依頼し、ご協力いただいております。

その中には、ご連絡当日にご対応いただいている場合も多くあり、成分献血に登録していただいている登録者の皆様や複数回献血クラブ会員様の献血協力に対する高い知識と、積極的な応諾によりご協力いただいております。

さらに、協力企業・団体様にも仕事中に献血していただくお時間をいただいております。



若年層への献血推進活動

わたしたちは、10代から20代の若者へ献血の大切さを伝えることを、積極的に取り組んでいます。



石川県学生献血推進委員会



石川県学生献血推進委員会

●石川県学生献血推進委員会とは

平成5年に金沢経済大学（現金沢星稜大学）の学生が、大学を超えて献血推進に取り組みたいと、他大学に協力を呼びかけ、県内14の大学・短大等の賛同を得て発足しました。活動内容として、年二回の総会や各キャンペーン（七夕、サマー、クリスマス等）を主催し献血の大切さをアピールしていただいています。

●石川県学生献血推進委員会主な活動（平成28年度）

- 5月 石川県学生献血推進委員会第一回総会
- 6月 石川県学生献血推進委員会連絡会
- 7月 七夕献血キャンペーン
- 8月 テレビ金沢に広報のため出演
- 8月 東海北陸ブロック統一企画 サマー献血キャンペーン
- 8月 全国、東海北陸ブロック学生代表者会議
- 12月 複数回献血クラブイベント映画試写会にて広報活動
- 12月 全国統一企画 クリスマス献血キャンペーン
- 2月 石川県学生献血推進委員会第二回総会
- 2月 東海北陸ブロック第二回学生代表者会議



第一回総会 集合写真



テレビ金沢 出演



東海北陸ブロック 第二回学生代表者会議

石川県学生献血推進連絡会

学生献血推進ボランティアへのバックアップと若者へのさらなる献血普及を進めることにご賛同いただいた大学・短大等教職員の方々と学生さんで構成されています。

複数回献血クラブ制度

複数回献血クラブは、安全な献血者を安定的に確保するために、年間で複数回の400mL献血や成分献血にご協力いただける方を募集しています。

登録いただいた方には、血液センターから携帯電話やパソコンの電子メールで、緊急時の「献血のお願い」や「献血に関するお知らせ」を送信します。

また、献血の検査結果が閲覧できるなど会員特典があります。

● 複数回献血クラブ登録者状況 （平成29年3月末現在）

	累 計
石川県	6,649

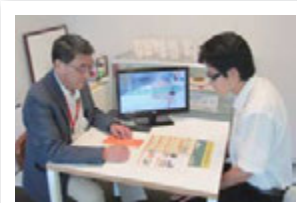
（人）

栄養相談・骨髄バンクドナー



石川県栄養士会に所属する管理栄養士がヘモグロビン濃度の低い方等に栄養相談を行い、献血できるようにアドバイスしてくれます。

栄養相談 ● 原則毎月第2、4土曜日 14時～16時



ボランティア団体「はとの会」に所属するボランティアが骨髄バンクドナーについて懇切丁寧に説明してくれます。

骨髄バンクドナー登録 ● 毎週日曜日 13時50分～17時

献血場所の紹介



献血バス



北は珠洲市・輪島市などから南は加賀市・白山市など、石川県全域の役所・企業・学校・ショッピングセンター等に献血バスで伺って、みなさまに献血をお願いしています。当センターにはバスが4台あり、病院からの要望に合わせて毎月平均約30台前後稼働させています。献血バスでは400mL献血等の全血献血の受付を行っておりますので、バスをお見かけの際は是非ご協力ください。



〔バス〕				(人)
全血献血	成分献血	合計		
200mL	400mL	PPP	PC	
1,054	18,933	—	—	19,987

H28年度 献血者数実績

献血ルーム ル・キューブ

「木漏れ日あふれる玉手箱」をコンセプトに、黄緑色を基調とし、外の光が入り明るいイメージとなって、献血にご協力いただける方はもちろん、お子様も一緒にくつろげるやさしい雰囲気 of 献血ルームとして、平成26年3月に移転オープンしました。

ゆったりと広い待合室やキッズルームを備え、より一層、皆様に快適で安心して献血いただけるように努めています。



採血室

清潔感と開放感にあふれた室内

快適性を追求して献血者の負担軽減



待合室



入口

スタイリッシュな空間を演出

〔ル・キューブ〕				(人)
全血献血	成分献血	合計		
200mL	400mL	PPP	PC	
732	3,225	3,807	4,437	12,201

H28年度 献血者数実績

献血ルーム くらつき

平成28年10月の血液センターの新築移転に伴い、旧庁舎（金沢市鞍月東1-1〈石川県庁前〉）を「献血ルーム くらつき」に名称変更し、成分献血と全血献血を受け入れています。

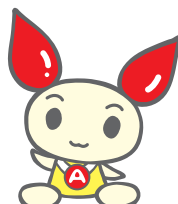
広い駐車場と献血中のテレビ・ビデオ視聴など献血される方に快適にリラックスしていただける施設となっています。



採血室



献血ルーム くらつき(外観)



〔くらつき〕				(人)
全血献血	成分献血	合計		
200mL	400mL	PPP	PC	
92	3,554	2,573	4,220	10,439

H28年度 献血者数実績

献血推進に係る新たな中期目標 ～献血推進2020～

背景及び目的

病気やけがの治療等に必要な血液は、国民の善意による献血によって支えられています。献血者は昭和60年度に延べ約876万人を数えましたが、その後減少を続けて平成19年度には約496万人まで低下しました。

国は、平成17年度から「献血構造改革」、平成22年度から「献血推進2014」といった5ヵ年の献血推進目標を策定して献血者確保のための取り組みを行ってきました。

平成25年度の献血者数は約516万人でしたが、20代、30代の献血率の減少が続いています。日本赤十字社の血液需給将来推計シミュレーションでは、平成25年の献血率（献血可能人口の6.0%）のまま、少子高齢化が進んでいった場合、血液需要がピークとなる2027（平成39）年に、献血者約85万人分の血液が不足すると推計されました。

こうした状況を踏まえ、将来の血液の安定供給体制を確保するため、新たに平成27年度から平成32（2020）年度までの6年間の中期目標を設定し、献血の推進を図っていくこととしました。

平成32(2020)年度までの達成目標

項 目	目 標	H27年度 実績値	H32年度 目標値	H29年度 石川県の目標値
若年層の 献血者数の増加	10代(注1)の献血率を増加させる。	5.4%	7.0%	6.7%(3,110人)
	20代の献血率を増加させる。	6.5%	8.1%	7.8%(9,097人)
	30代の献血率を増加させる。	6.0%	7.6%	7.3%(10,306人)
安定的な 集団献血の確保	集団献血等に協力いただける 企業・団体を増加させる。	53,316社	60,000社	21社
複数回献血の増加	複数回献血者(年間)を 増加させる。	967,142人	1,200,000人	700人
献血の周知度の上昇	献血セミナーの実施回数(年間) を増加させる。	1,211回	1,600回	23回

(注1) 10代とは献血可能年齢である16～19歳を指します。

重点的な取り組みについて

上記の目標を達成するため、以下の事項について重点的に取り組んでいくこととします。

(1) 献血の普及啓発

広く国民に献血の意義を理解し、献血を行っていただくため、効果的な普及啓発 を促進します。

(2) 若年層対策の強化

① 10代への働きかけ

献血への理解を深めてもらうことにより、初めての献血を安心して行っていただくため、日本赤十字社が実施する「献血セミナー」などの積極的な活用を推進します。

② 20代・30代への働きかけ

20代・30代は、リピータードナーにならずドロップアウトする方が多いため、献血を体験した方が、長期にわたり複数回献血に協力してもらえるように普及啓発、環境整備に取り組めます。また、企業などへの働きかけを一層強化し集団献血を行うことにより、安定的な献血者の確保を図ります。

(3) 安心・安全で心の充足感が得られる環境の整備

献血は相互扶助と博愛精神による自発的な行為であり、献血者一人一人の心の充足感が活動の大きな柱となっています。

献血に協力いただく方々が、より安心・安全に献血できるとともに、心の充足感を得られ継続して献血いただける環境整備を図ります。

献血功労者・功労団体の表彰



日時：平成28年7月25日(月) 場所：石川県庁4階特別会議室

1. 厚生労働大臣表彰状(2団体)

- ①医療法人社団 博友会 金沢西病院
- ②金沢伏見ライオンズクラブ

2. 厚生労働大臣感謝状(6団体)

- ①株式会社久世ベローズ工業所
- ②タカラスタンダード株式会社 北陸工場
- ③丸文通商株式会社
- ④株式会社ツキボシP&P
- ⑤ANAクラウンプラザホテル金沢
- ⑥財団法人 こまつ看護学校

3. 石川県知事感謝状

(1) 献血成績優良団体(6団体)

- ①一般社団法人 日本損害保険協会北陸支部
- ②一般社団法人 石川県建築組合連合会中央建設国民健康保険組合石川県支部
- ③石川県電気工事工業組合 金沢本部
- ④学校法人 日本航空学園
- ⑤株式会社富士通ITプロダクツ
- ⑥株式会社北村機器製作所

(2) 献血推進功労者(1団体)

- ①国際ソロプチミスト 金沢-くろゆり

(3) 献血成績優良者(90名)

代表 太田 あや

(4) 献血目標達成市町(6市町)

代表 宝達志水町

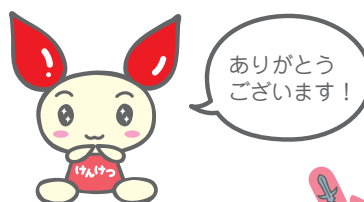
4. 日赤支部長感謝状

(1) 献血団体(金色枠/活動継続年数10年以上)(4団体)

- ①一般社団法人 生命保険協会石川県協会
- ②北陸電力株式会社 石川支店金沢電力部
- ③小松電子株式会社
- ④日機装株式会社 金沢製作所

(2) 献血団体(銀色枠/活動継続年数5年以上)(5団体)

- ①伸晃化学株式会社
- ②前多株式会社
- ③株式会社ベネフレックス 金沢営業所
- ④株式会社吉光組
- ⑤コマツ金沢工場



献血推進団体



石川県医薬配置協議会
 石川県学生献血推進委員会
 石川県青年赤十字奉仕団
 石川県赤十字奉仕団
 石川県婦人団体協議会
 石川県理容生活衛生同業組合 金沢支部
 国際ソロプチミスト金沢-くろゆり
 天理教石川教区
 立正佼成会小松教会
 日清食品
 ライオンズクラブ
 金沢ライオンズクラブ
 金沢中央ライオンズクラブ
 金沢西ライオンズクラブ
 金沢菊水ライオンズクラブ
 金沢兼六ライオンズクラブ
 内灘ライオンズクラブ

金沢城北ライオンズクラブ
 高松ライオンズクラブ
 かほく中央ライオンズクラブ
 羽咋ライオンズクラブ
 七尾ライオンズクラブ
 穴水ライオンズクラブ
 輪島ライオンズクラブ
 中能登ライオンズクラブ
 田鶴浜ライオンズクラブ
 加賀ライオンズクラブ
 小松ライオンズクラブ
 能美ライオンズクラブ
 小松中央ライオンズクラブ
 小松青雲ライオンズクラブ
 松任ライオンズクラブ
 美川ライオンズクラブ
 野々市ライオンズクラブ

鶴来ライオンズクラブ
 金沢東ライオンズクラブ
 金沢南ライオンズクラブ
 金沢尾山ライオンズクラブ
 金沢ひかりライオンズクラブ
 金沢伏見ライオンズクラブ
 金沢みどりライオンズクラブ
 金沢パークライオンズクラブ
 ロータリークラブ
 金沢東ロータリークラブ
 加賀ロータリークラブ
 羽咋ロータリークラブ
 珠洲ロータリークラブ
 内浦ロータリークラブ

(順不動)

平成28年度 献血ポスターコンクール優秀作品



平成28年度は石川県内25校、304人の出展がありました。

金賞1名、銀賞3名、銅賞6名の入賞作品を献血ルーム ル・キューブにおいて12月から1ヶ月間展示しました。



白山市立笠間中学校3年
関沢 柚希



白山市立笠間中学校1年
大井川 翔子



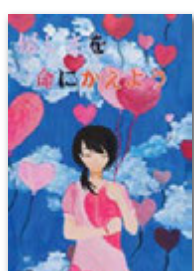
白山市立北辰中学校3年
埴田 あかり



白山市立笠間中学校1年
宮下 千佳



白山市立北星中学校1年
安部 彩音



白山市立松任中学校1年
木田 萌絵



金沢市立高岡中学校2年
高田 真帆



白山市立松任中学校2年
竹村 亜依



白山市立笠間中学校1年
中山 美夕



野々市市立野々市中学校3年
西山 珠央



採血基準



献血種類別の献血基準

献血の種類 項 目		成 分 献 血		全 血 献 血	
		血漿成分献血	血小板成分献血	200mL 献血	400mL 献血
1回の献血量	男女共通	600mL 以下 (循環血液量の12%以内)	400mL 以下	200mL	400mL
年 齢	男 性	18歳～69歳※	18歳～69歳※	16歳～69歳※	17歳～69歳※
	女 性	18歳～69歳※	18歳～54歳	16歳～69歳※	18歳～69歳※
体 重	男 性	45kg 以上			50kg 以上
	女 性	40kg 以上			50kg 以上
最 高 血 圧	男女共通	90mmHg 以上			
血 色 素 量	男 性	12g/dL 以上		12.5g/dL 以上	13g/dL 以上
	女 性	12g/dL 以上 (赤血球指数が標準域にある場合は11.5g/dL 以上)	12g/dL 以上	12g/dL 以上	12.5g/dL 以上
血 小 板 数	男女共通	—	15万/μL 以上	—	—
年間献血回数	男 性	血小板成分成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内		6回以内	3回以内
	女 性			4回以内	2回以内
年間総献血量	男 性	—	—	200mL献血と400mL献血を 合わせて1,200mL以内	
	女 性	—	—	200mL献血と400mL献血を 合わせて800mL以内	

※65歳以上の献血は、献血者の健康に配慮し、60～64歳の間に献血経験のある方に限ります。

献血の間隔



今回の献血 次回の献血	血漿成分献血	血小板成分献血	200mL 献血	400mL 献血
血 漿 成 分 献 血	男女とも2週間後の同じ曜日から 献血可能 ※		男女とも4週間後の 同じ曜日から 献血可能	男女とも8週間後の 同じ曜日から 献血可能
血 小 板 成 分 献 血				男性は12週間後、 女性は16週間後の 同じ曜日から 献血可能
200mL 献 血				
400mL 献 血				

※血漿を含まない場合は、1週間後に血小板成分献血が可能になります。
但し、4週間に4回実施した場合は、次回まで4週間以上期間をあけてください。

血液と血液製剤について



献血の種類と血液製剤の種類

献血には、血液すべての成分をいただく「全血献血」と血液中の必要な成分（血小板や血漿）だけをいただく「成分献血」の2種類があります。全血献血は、200mLまたは400mLの血液を採血バッグに採取します。成分献血は、成分採血装置を用いてまず全血を採血し、その中から血漿や血小板を採取して赤血球は献血者の方へ返す方法です。こうして献血された血液は、赤血球・血小板・血漿などの輸血用血液製剤として使用されるほか、血漿中のタンパク質を抽出・精製した血漿分画製剤の原料として使用されます。

●輸血用血液製剤



●血漿分画製剤

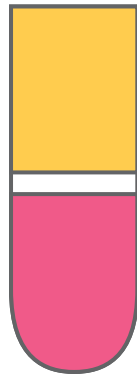
「血漿分画製剤」は、人の血液の血漿から、治療に必要な血漿タンパク質を種類ごとに分離精製したもので、主なものにアルブミン製剤、免疫グロブリン製剤、血液凝固因子製剤があります。国内製薬企業3社を通じ医療機関に供給されています。



血液の役割

成人で体重の約1/13を占める血液は、人体の機能を維持するために欠かせないものです。

血液と抗凝固剤を試験管に入れしばらく放置すると、大きく分けて二つの層に分離しますが、上層に浮かんでくる液体は血漿です。下層に沈殿してくるのが血球です。



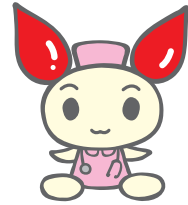
血漿(55%)

水分(91%)・固形成分(9%)

血球(45%)

赤血球、白血球、血小板

※白い部分はバフィーコート(白血球と血小板の層)といい、血液製剤では大部分が取り除かれています。



赤血球

● 性 状

血液1mm³に成人男子で約500万個、成人女子で約450万個、幼児で約690万個。直径約10/1000mmの円盤型ですが、両面にくぼみがあるため、ドーナツのような形をしています。骨髓でつくられて、古くなると脾臓で壊されますが、その間の寿命は約120日間です。

● 働 き

肺で酸素を取り込み、体の各部に運搬します。



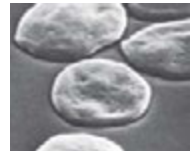
血小板

● 性 状

血液1mm³に約20~40万個。直径約2/1000mmの円盤型の細胞です。体内での寿命は10日間程度です。

● 働 き

ケガなどで血管が傷ついて出血したとき、傷ついた部分を見つけて張りつき、周りの他の血小板や凝固因子を引き寄せて、血栓を作り出血を止めます。



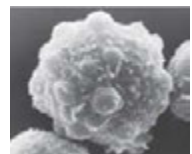
白血球

● 性 状

血液1mm³に成人で平均7,500個。顆粒球、単球とリンパ球からなります。顆粒球は好中球、好酸球、好塩基球の3種類、リンパ球はT細胞、B細胞、NK細胞の3種類に分けられます。単球は血管から組織に入り病原体を食べるマクロファージ(大食細胞)に変わります。

● 働 き

病原体やガン細胞を直接、あるいは抗体を作って間接的に攻撃し、病気から体を守る働きをしています。輸血において白血球が関与する副作用としては、発熱反応・TRALI・CMVなどの感染症などがあります。



血 漿

● 性 状

91%は水分で、残りの約9%はアルブミン、グロブリン、血液凝固因子などのたんぱく質です。この他に無機塩類、糖質、脂質を含みます。

● 働 き

血漿は全身をめぐる、栄養素やイオン、水、ホルモンなどを運び、不要物や余分な水を持ち帰ります。また、体温調節作用、体の保護(アルブミンによる組織の適正な水分維持など)、止血作用(血小板と共に凝固因子が働く) などのたらきをします。



血液型

血液型というと赤血球の型が代表的ですが、白血球や血小板にも血液型があります。輸血する際には、ＡＢＯ血液型、Ｒｈ血液型を合わせることが一般的ですが、その他の血液型を合わせることが、必要となる場合もあります。

ＡＢＯ血液型

最も良く知られた赤血球の血液型で、Ａ型の人はＡ型物質を持ち、Ｂ型の人はＢ型物質を持っています。ＡＢ型の人は両方の型物質を持ち、どちらも持っていないとＯ型になります。ＡＢＯ血液型は赤血球以外にも多くの組織、細胞に存在します。

Ｒｈ血液型

Ｒｈ血液型は赤血球だけに存在し、Ｄ、Ｃ、ｃ、Ｅ、ｅの５種類の抗原があります。一番多い人で５種類全部、一番少ない人でもＣかｃのどちらか１つと、Ｅかｅのどちらか１つのあわせて２種類の抗原を持っています。このうちＤ抗原を持たない人をＲｈマイナス型といいます。まれにＤ抗原しか持たない人（Ｄ₊、バーディーバー型）や抗原をまったく持たない人（Ｒｈナル型）がいます。

まれな血液型

まれな血液型とは、１００人に１人以下でしか見られない血液型のことをいい、型によっては千人に１人、あるいは何万人に１人という型もあります。輸血を必要としている人がまれな血液型で、しかもその抗体をもっているときは、同型のまれな血液型が必要となりますので、あらかじめ血液センターで冷凍保存している同型の血液を使用したり、同型の血液をもつ方に献血をお願いするなどして対応しています。しかし一度に必要な量を集めることは非常に困難なため、まれな血液型の献血者には輸血に備えるために登録者になっていただくようお願いしています。

ＨＬＡ血液型

ＨＬＡはヒト白血球抗原(Human Leukocyte Antigen)の略で、Ａ、Ｂ、Ｃ、ＤＲ、ＤＱ、ＤＰに大きく分けられ、それぞれの中に多くの型があります。ＨＬＡは白血球だけでなく、赤血球を除く、多くの組織、細胞に存在し、健康な細胞と病気の細胞、あるいは自分の細胞と他人の細胞を区別する重要な働きがあります。このため、骨髄移植においては他人の細胞であると区別されないように、ＨＬＡ型、とくにＡ、Ｂ、Ｃ、ＤＲ型を厳密に合わせる必要があります。また、血小板を輸血した場合、ＨＬＡ抗体によって輸血した血小板が壊れてしまうことがあり、このような場合にはＨＬＡ型を合わせて輸血することが必要です。

ＨＬＡ適合血小板について

●血小板製剤

血小板製剤は血小板成分献血から製造されています。この製剤は輸血を受ける患者さんにとって副作用が少なく効果が高い製品となっています。

●ＨＬＡ適合血小板の輸血効果

血小板輸血を頻回に行うとＨＬＡ抗原や血小板抗原に対して抗体ができてきます。その抗体によって血小板が破壊されるため、次に血小板を輸血しても増えない状態となります。このような時にＨＬＡ適合血小板は使用されます。

医薬情報活動

医療機関対応

医薬情報担当者は、医療機関からの血液製剤についての問い合わせや苦情に対応し、輸血副作用発生の報告があれば医療機関から情報収集を行い、原因究明に努めています。また、医療関係者に対して輸血に関する情報提供、血液製剤の適正使用の推進や正しい輸血用血液製剤の取り扱い方法についての研修会等を開催しています。



合同輸血療法委員会

平成23年3月より血液製剤の適正使用を推進するため、「石川県合同輸血療法委員会」を立ち上げ事務局として協力しています。委員会では、石川県内輸血実施医療機関へのアンケート調査解析を始め、遠隔地での講演会の開催や医療機関を訪問し輸血関連の相談・情報共有を実施しています。



血液事業における医薬品品質システムについて

平成24年度からの「広域事業運営体制」に併せて、血液事業において医薬品品質システム（以下「品質システム」という。）を導入しました。なお、「システム」とは「コンピュータシステム」ではなく、血液事業全体に関わる新たな「体系、仕組み」を意味します。

品質システムの全体像

血液製剤の品質管理／品質保証については、従来からGMP省令、GQP省令等に基づき必要な業務を実施していますが、最近では従来の品質管理／品質保証から、品質システムを構築したうえで品質運営を行うことが求められており、厚生労働省から品質システムのガイドラインが通知されています。

日本赤十字社の血液事業では、更なる品質の向上を目指し、採血から製造、供給に至るプロセスに対して、従来までの品質管理／品質保証活動（図1④）に、ガイドラインで示されている品質システムの3つの要点（「品質マニュアルに基づいた組織運営（図1①）」、「経営者の参加（図1②）」及び「継続的な改善（図1③）」を“上乗せ”した体系を導入しました。



図1 品質システムの全体像

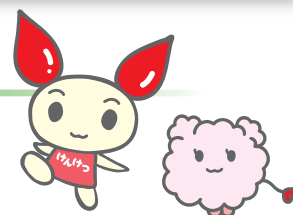
「品質保証」とは？

品質保証とは、「適切な品質の製品を提供している」と確信を持って言えるようにする活動」のことで、さらに日赤の血液事業の特色を考慮すると、「全国どこでも、提供される製品の品質が同じであることを保証する活動」となります。そのためには、血液事業全体として品質に対して統一的に取り組む必要があり、その仕組みが品質システムです。

平成28年度 献血者数・血液製剤の供給状況



平成28年度 献血者数：42,627人



(単位:人)

石川県

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
種類別	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数
200mL 献 血	4,822	4,288	4,698	3,671	2,178	1,878
400mL 献 血	29,999	28,976	28,474	27,489	27,001	25,712
成 分 献 血	19,114	17,426	15,723	15,254	15,187	15,037
合 計	53,935	50,690	48,895	46,414	44,366	42,627

● 男女別献血率

年度	平成28年度	
性別	人 数	比 率 (%)
男	31,566	74.1
女	11,061	25.9
計	42,627	100.0

● 種類別献血率

年度	平成28年度	
種類別	人 数	比 率 (%)
200mL 献血	1,878	9.6
400mL 献血	25,712	58.2
成分献血	15,037	32.2
計	42,627	100.0

● 年代別献血率

年度	平成28年度	
年代	人 数	比 率 (%)
20歳未満	1,882	4.4
20～29歳	6,439	15.1
30～39歳	7,623	17.9
40～49歳	13,401	31.4
50～59歳	9,695	22.7
60歳以上	3,587	8.4
合 計	42,627	100.0

● 施設別献血率

年度	平成28年度	
施設	人 数	比 率 (%)
血液センター	6,061	27.2
献血ルームくらつき	4,378	21.9
献血ルームルキューブ	12,201	28.6
移動献血車	19,987	46.9
合 計	42,627	100.0

● 職業別献血率

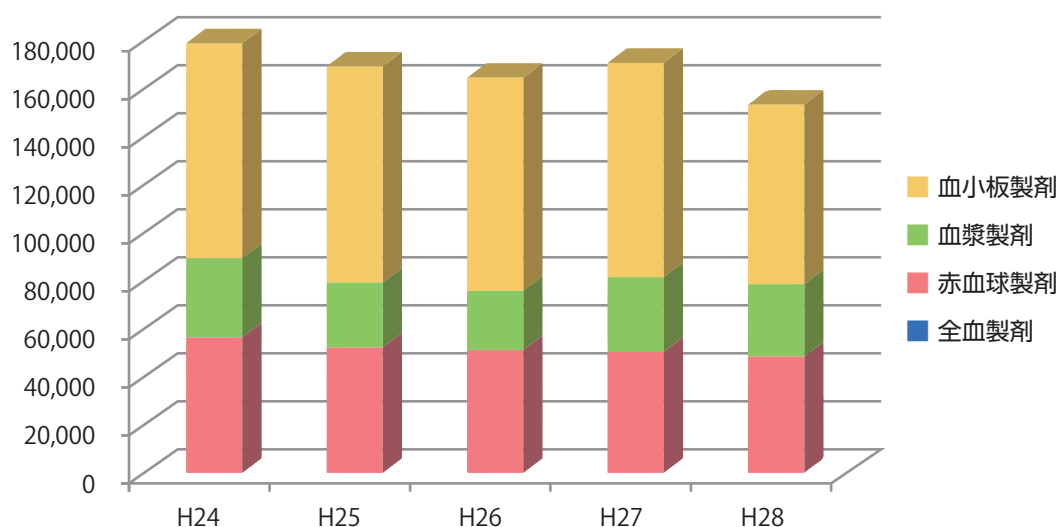
年度	平成28年度	
職業別	人 数	比 率 (%)
公務員	5,951	14.0
会社員	25,523	59.9
学生	3,525	8.3
その他	7,628	17.9
合 計	42,627	100.0

● 献血できなかった割合

年度	平成28年度	
不適格内容	人 数	比 率 (%)
血色素不足	1,968	38.4
血圧異常	330	6.4
服 薬	695	13.6
問診該当①	247	4.8
問診該当②	597	11.7
事前検査	71	1.4
その他	1,214	23.7
合 計	5,122	100.0

血液製剤の供給状況

輸血用血液製剤(年度別)

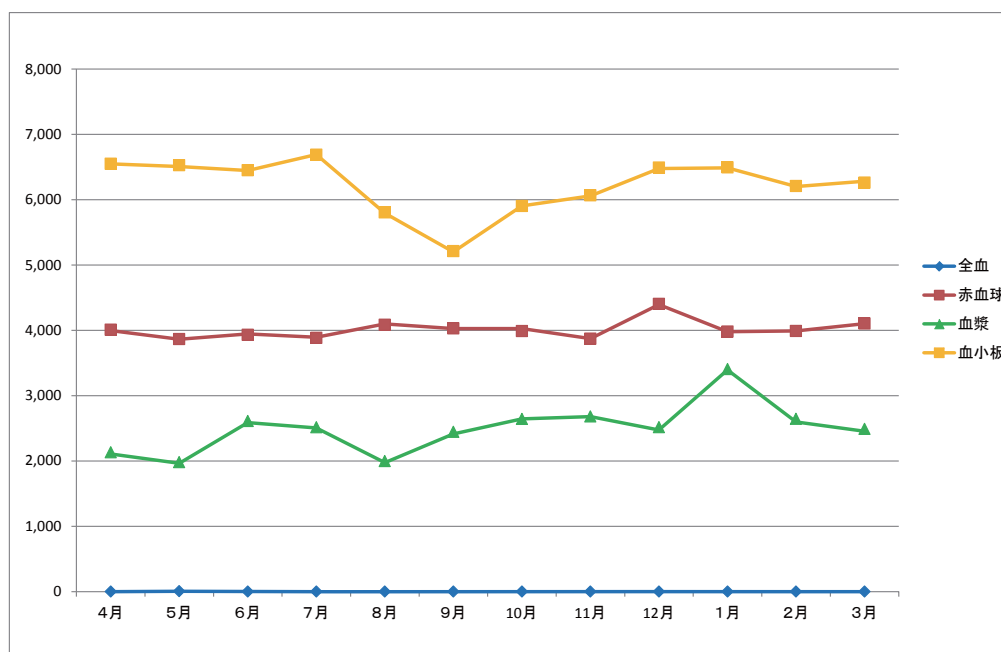


(単位)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
全血製剤	15	4	0	6	2
赤血球製剤	56,592	52,431	51,265	50,558	48,607
血漿製剤	33,012.5	27,047.0	24,821.0	31,174.5	30,168.0
血小板製剤	89,835	90,245	88,920	89,536	75,060
計	179,454.5	169,727.0	165,006.0	171,274.5	153,837.0

※1単位とは200mL献血の血液から造られる、輸血用血液製剤の量のことをいいます。

輸血用血液製剤(H28年度月別)

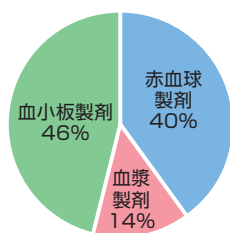


(月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全血	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
赤血球	4,090	3,877	3,992	3,897	4,109	4,051	4,037	3,980	4,355	4,014	4,052	4,153	48,607
血漿	2,201.0	1,922.5	2,698.5	2,427.5	1,924.5	2,403.5	2,669.0	2,864.5	2,581.0	3,331.5	2,725.5	2,419.0	30,168.0
血小板	6,650	6,615	6,310	6,745	5,850	5,245	5,930	6,185	6,560	6,440	6,230	6,300	75,060
計	12,941.0	12,416.5	13,000.5	13,069.5	11,883.5	11,699.5	12,636.0	13,029.5	13,496.0	13,785.5	13,007.5	12,872.0	153,837.0

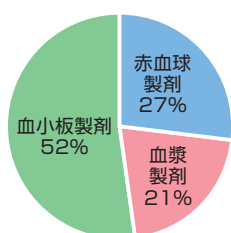
地域別供給状況

【血液製剤別構成比】



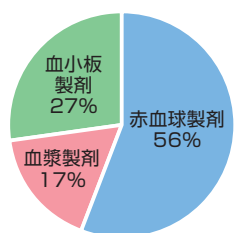
能登

【血液製剤別構成比】

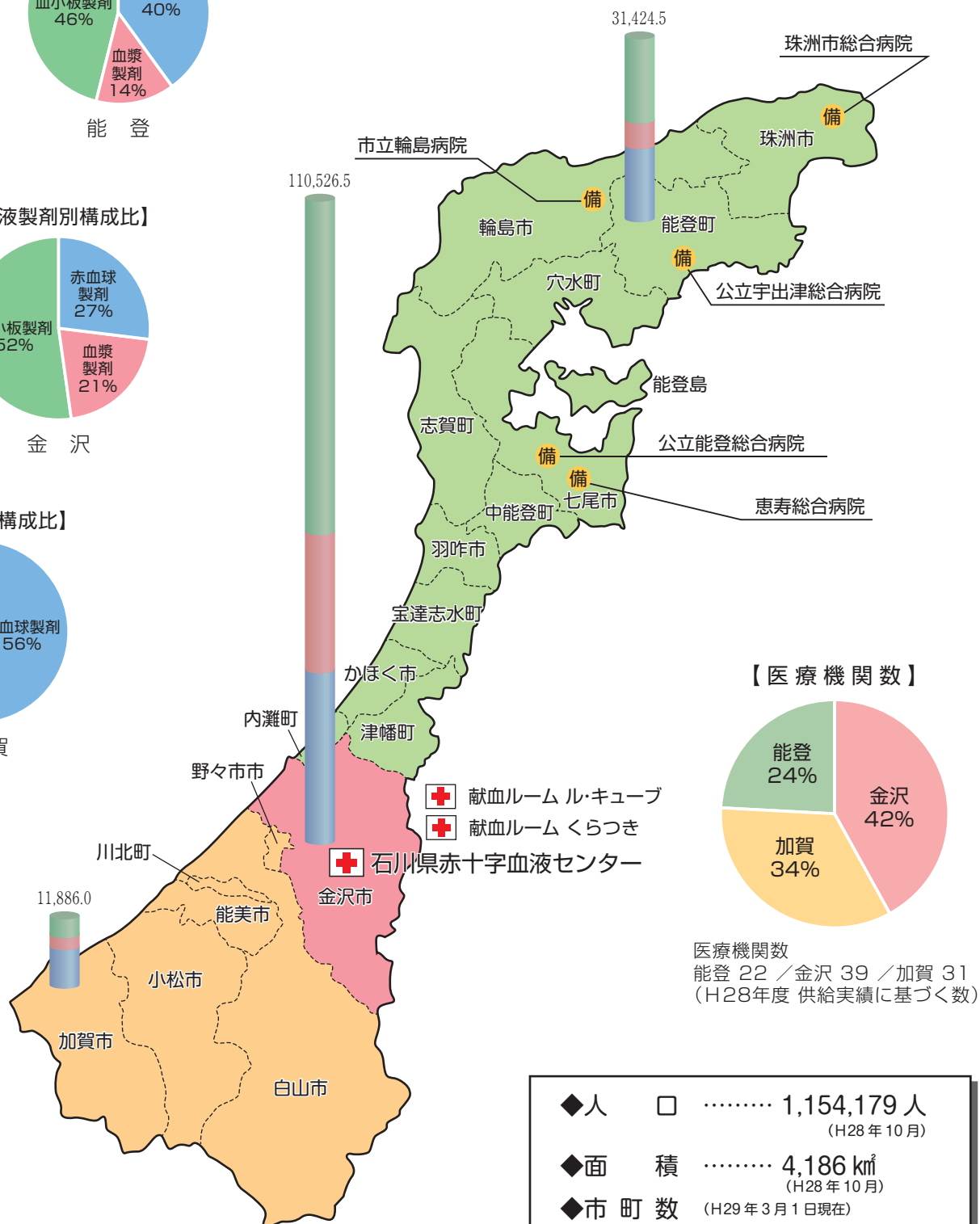


金沢

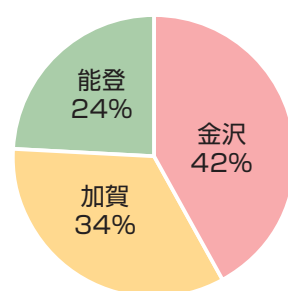
【血液製剤別構成比】



加賀



【医療機関数】



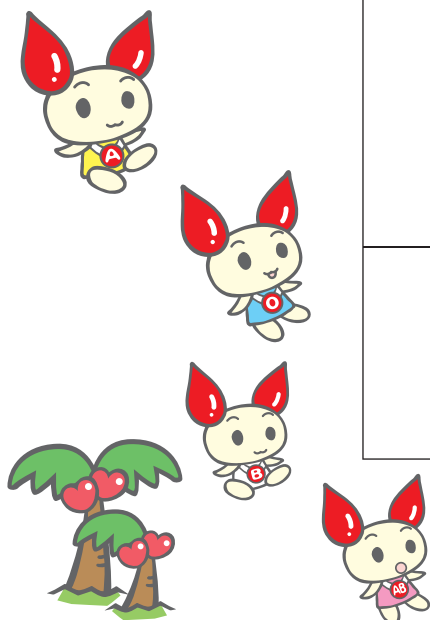
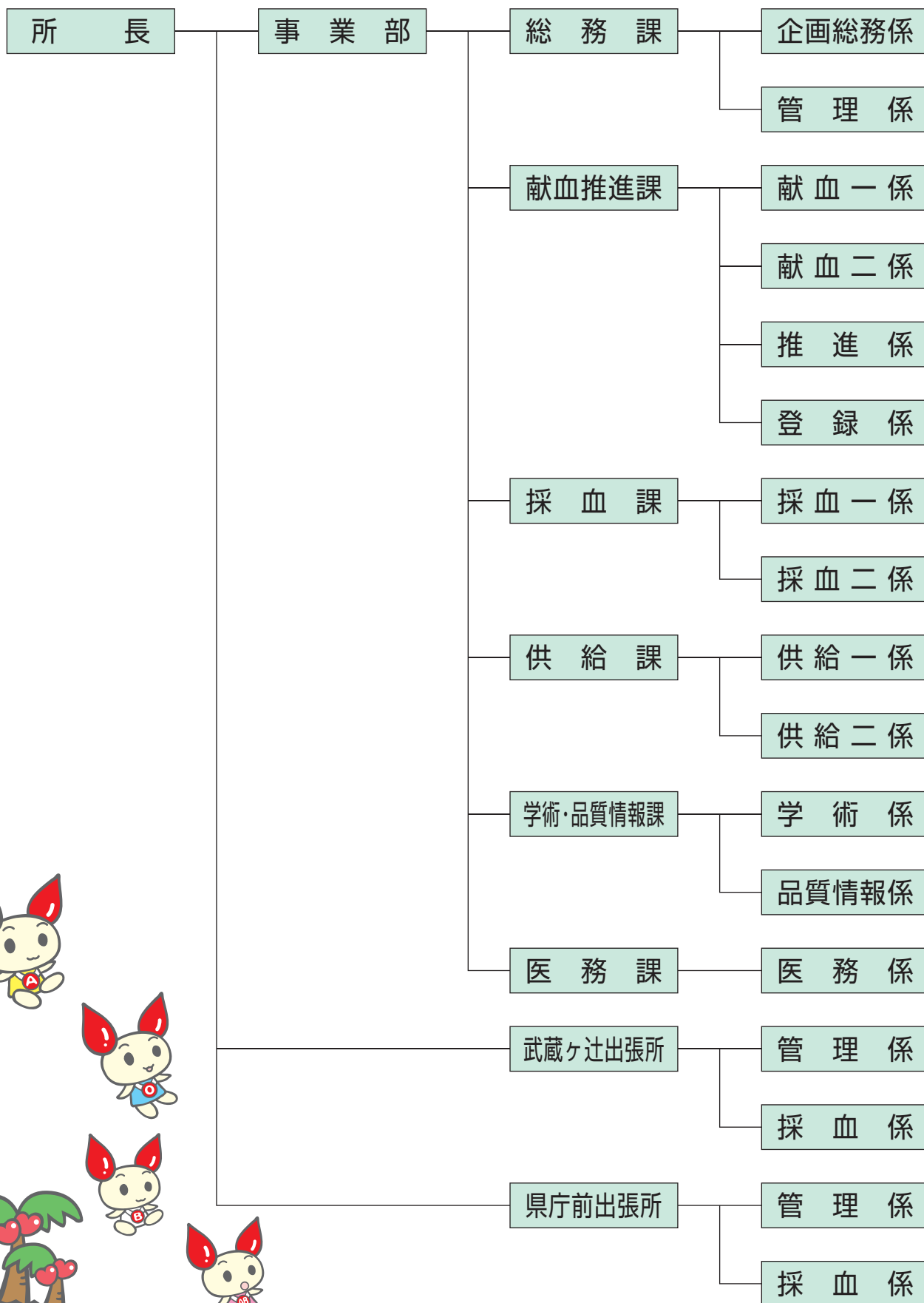
医療機関数
能登 22 / 金沢 39 / 加賀 31
(H28年度 供給実績に基づく数)

◆人	□	 1,154,179 人
		(H28 年 10 月)
◆面	積	 4,186 km ²
		(H28 年 10 月)
◆市 町 数		(H29 年 3 月 1 日現在)
	市	 11 市
	町	 8 町
◆備	血液製剤備蓄医療機関	5 病院

石川県赤十字血液センターの組織



平成 28 年 11 月 1 日現在



石川県赤十字血液センターの沿革



- 昭和40年 1 月 移動献血車「さちしお1号」を購入し、血液事業を開始
(財)北陸血清製造所に献血血液の保存・検査・供給を委託
第1回集団献血(美川町青年団36名)
- 40年 3 月 第1回石川県献血推進協議会を開催
- 41年 7 月 輪島市において献血者1万人目達成
- 9 月 第1回石川県献血推進大会を開催(石川県婦人会館)
Rhマイナス血液型友の会「さちしお会」結成
- 42年 9 月 赤十字血液センターに採血所を設置
都道府県の赤十字血液センター間で保存血液の需給調整を開始
- 43年 3 月 小松出張所(採血所)を市立小松総合病院に設置
- 6 月 ABO式血液型無料判定を実施
- 8 月 穴水出張所(採血所)を公立穴水中央病院に設置
- 9 月 赤十字血液センターが(財)北陸血清製造所から保存血液の検査業務を引継
- 45年 1 月 七尾出張所(採血所)を公立能登総合病院に設置
- 9 月 美川町において献血者10万人目達成
- 46年 4 月 赤十字血液センターが(財)北陸血清製造所から保存血液の供給を全面的に引継(直配一貫制に移行)
- 7 月 第7回献血運動推進全国大会が石川県で開催(金沢市観光会館)
- 51年 5 月 血液成分製剤の製造を開始
- 55年 3 月 金沢市において献血者50万人目達成
- 9 月 赤十字血液センターを金沢市南新保町地内(現県庁前出張所所在地)に新築移転
- 57年 4 月 血液生化学検査(6項目)の成績の全員通知を開始
献血手帳の供給記録欄の廃止
- 58年10月 穴水出張所(採血所)廃止
- 11月 献血者登録制度発足
- 61年 3 月 赤十字血液センター増改築完成
- 4 月 400mL献血、成分献血を開始
- 6 月 コンピューターシステムの導入
- 11月 片町出張所「献血ルームラブロ」を設置
(開設時全血献血4ベッド⇒全血献血2ベッド、成分献血6ベッド)
HIV-1抗体検査、HTLV-1抗体検査を開始
- 12月 金沢市において献血者100万人目達成
バーコードラベルによるエイズチェック開始
- 平成元年 4 月 小松出張所(採血所)廃止
- 7 月 出張での成分献血開始(事業所に成分採血装置を持込み)
- 11月 HCV抗体検査、HBc抗体検査を開始
- 2 年 1 月 七尾出張所(採血所)廃止
- 2 年10月 片町出張所「献血ルームラブロ」の機能強化
(全血献血2ベッド⇒3ベッド、成分献血6ベッド⇒9ベッド)
- 3 年 1 月 赤十字血液センター採血所の機能強化(土曜日献血の実施)
- 9 月 小松市において献血者150万人目達成
- 11月 成分献血に対応した大型移動献血車を購入

平成 4 年 3 月	献血による血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給開始
6 年 1 月	第一次全国赤十字血液センター統一コンピューターシステムを導入
9 月	第18回日本血液事業学会を金沢市において開催
7 年 4 月	赤血球MAPの有効期限短縮(42日間から21日間へ短縮)
8 年 3 月	赤十字血液センターの増改築工事完成(新館建設)
9 年11月	献血ルームラプロにおいて献血者200万人目達成
10年 5 月	第1回石川県輸血懇話会の開催
6 月	放射線照射輸血用血液が国に認可され供給を開始
11月	片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化 (成分献血9ベッド⇒10ベッド、問診用個室を新設)
11年10月	全国的にNAT(核酸増幅検査)を導入【500検体プール】 (検査施設 北海道千歳市、東京都江東区、京都府福知山市)
12年 2 月	NAT(核酸増幅検査)【プールサイズ500検体→50検体】
13年 5 月	赤十字血液センター・イントラネット導入
14年 3 月	赤十字血液センター・ホームページ開設
15年 1 月	赤十字血液センター採血所の業務拡大(日・祝日を除く毎日開設)
3 月	片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化(心電図室新設)
7 月	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律が施行
16年 5 月	第二次全国赤十字血液センター統一コンピューターシステムを導入
8 月	NAT(核酸増幅検査)【プールサイズ50検体→20検体】
10月	日赤本社に血液事業本部を設置 検査目的の献血防止対策として献血受付時の本人確認の実施
17年 2 月	宝くじ協会より移動献血車さちしお5号(大型)寄贈 金沢市において献血者250万人目達成
6 月	英国滞在歴に関する献血制限の実施
12月	片町出張所「献血ルームラプロ」平日献血強化のため定休日変更(水曜日⇒土曜日)
18年 3 月	タッチパネルシステムを固定施設に導入 複数回献血クラブを設置
4 月	富山県赤十字血液センターの血液検査業務を集約
10月	福井県赤十字血液センターの血液検査業務を集約 献血手帳から献血カードへ切替 献血者健康被害救済制度を開始
19年 1 月	全血由来製剤の保存前白血球除去、初流血除去開始
11月	血小板血液製剤の有効期限が72時間から4日間に延長
20年 5 月	化学発光酵素免疫法(CLEIA法)検査機器の導入完了 赤十字血液センター・ホームページ更新
21年 3 月	製剤施設移転拡張(本館2階⇒新館3階)の工事完成 糖尿病関連検査(グリコアルブミン検査)のサービス通知開始
21年 4 月	富山県赤十字血液センター・福井県赤十字血液センターの血液製剤製造業務を集約
7 月	供給課冷凍室拡張、事務室・会議室等の内部改修工事完成
22年 1 月	宝くじ協会より移動献血車さちしお2号(中型)寄贈 1980年から1996年の英国滞在歴の献血制限が1日以上から通算1か月以上に緩和
3 月	血液事業広報用映像装置「デジタルサイネージ」導入 (赤十字血液センター採血所・片町出張所)

平成23年 4 月	石川県合同輸血療法委員会設立（県・血液センター・医療機関） 400mL全血献血が18歳から17歳（男性のみ）に引下げ 血小板成分献血が54歳から69歳（男性のみ）に引上げ
9 月	赤十字血液センターの移転用地を取得（金沢市藤江北4丁目地内 9,155㎡）
24年 4 月	血液事業が全国7つのブロック血液センターによる広域事業運営体制（広域的な経営体制及び需給管理体制）に移行 （北陸3県及び東海4県は東海北陸ブロックに所属） 石川県赤十字血液センターが「石川県赤十字血液センター」と「東海北陸ブロック血液センター石川製造所」に分離 ・ 赤十字血液センターの業務 献血推進、採血、供給、医薬情報活動及び献血ルーム運営 ・ 東海北陸ブロック血液センター石川製造所の業務 北陸三県の検査、血液製剤製造、献血者登録及び需給管理
5 月	多目的検診車1台を導入
8 月	B型肝炎ウイルス関連検査判定基準の変更（HBV感染既往血液への更なる安全対策）
10月	シャーガス病の安全対策の実施 片町出張所「献血ルームラブロ」献血者50万人目達成
25年 1 月	「献血の同意説明書」の導入
10月	日本赤十字社・造血幹細胞提供支援機関に国から指定を受ける
26年 2 月	赤十字血液センター・ホームページ更新（スマートフォン・タブレットに対応） 赤十字血液センター・イントラネット変更（本部整備ネットワークに加入）
3 月	献血ルーム移転（片町出張所「献血ルーム ラブロ」から武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」へ移転し業務開始） 石川製造所の検査部門と献血者登録部門の一部業務を東海北陸ブロック血液センターに集約
4 月	武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」開所式挙行
6 月	血液事業情報システムを導入（電子カルテ化）
8 月	個別NAT（核酸増幅検査）を導入【20検体→1検体】 （検査施設8ヶ所：北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中四国、九州の各ブロック血液センターおよび関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所）
9 月	石川県における献血者300万人達成
27年 1 月	武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者1万人達成
11月	石川県赤十字血液センター地鎮祭（移転建設工事開始） 武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者2万人達成 血小板成分献血のPC分割開始
28年 4 月	ALT製品除外基準の変更【61 IU/L以上 → 101 IU/L 以上】
10月	赤十字血液センターを金沢市藤江北に新築移転 県庁前出張所「献血ルーム くらつき」を設置 （全血献血2ベッド、成分献血8ベッド）

石川県赤十字血液センター 藤江北4丁目へ

新築移転！

平成28年10月31日、当センターは金沢市藤江北4丁目へ事務部門などを新築移転いたしました。

献血バスや献血運搬車の基地を備えた新庁舎は、バリアフリーや周辺環境にも配慮したデザインとなっており、イベント開催も可能なエントランスホールやボランティア室、研修室が備わっており、一般の方や学生の皆さまにもご活用いただける施設となっております。

ご利用の際はお気軽に総務課（076-254-6371）までご連絡ください。



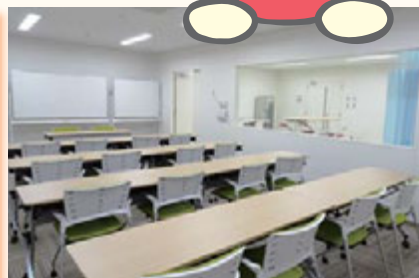
石川県赤十字血液センター新庁舎



エントランスホール



ボランティア室



研修室



**旧庁舎は「献血ルーム くらつき」
としてスタート！
献血ルーム2か所体制に！**

血液センターの新築移転と同時に旧庁舎1階の採血施設は県庁前出張所「献血ルーム くらつき」としてリニューアル。県内2か所目の献血ルームとして新たにスタートいたしました。

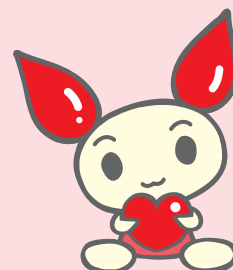
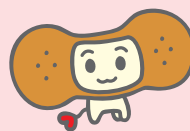


**「献血ルーム ル・キューブ」も
これまでと変わらず営業しておりますのでよろしくお願いいたします！**



献血への協力に心から感謝いたします。

患者さんからの
メッセージ



わたしたちの誓い

1. 献血される方と患者さんの「安全・安心」の架け橋になれるよう、私たちは常に努力します。
2. 「献血される方のやさしさ」に笑顔と真心と信頼でお応えするよう、私たちは心がけています。
3. 献血される方の「無償の愛」を、患者さんに大切にお届けするために、私たちは努力します。
4. 血液事業を通じて、地域医療に貢献し、日々成長し続けるよう、私たちは努めます。
5. 信頼され、希望に満ちた明るい職場づくりに、私たちは努力します。

平成 19 年 7 月 20 日

石川県赤十字血液センター
職員一同

成分献血のご協力・お問い合わせは

献血ルーム ル・キューブ

〒920-0909 金沢市袋町1番1号 かなざわはこまち3階
TEL (076) **220-1655** FAX (076) **220-1654**

定休日 月曜日（祝日の場合は開設）
受付時間 400mL・200mL献血 10:00～12:30／13:50～18:00
成分献血 10:00～12:00／13:50～17:15



献血ルーム くらつき

〒920-8201 金沢市鞍月東1丁目1番地(石川県庁前)
TEL (076) **237-3745** FAX (076) **237-5565**

定休日 日曜日・祝日
受付時間 月曜日から金曜日
400mL・200mL献血 9:00～11:40／13:00～16:45
成分献血 9:00～11:00／13:00～16:00
土曜日
400mL・200mL献血 8:30～11:40／13:00～16:15
成分献血 8:30～11:00／13:00～15:30

